

令和5年度 組織マネジメントシート

部名:

課名: 農業委員会事務局

■組織目標(今年度組織が目指す姿)

市内における農地等の利用の最適化を推進することにより、優良農地の確保と農地利用の効率化及び高度化が促進され、農業委員及び農地利用最適化推進委員が連携を図りながら地域活動を積極的に進める。

■組織使命(行政組織の存在意義、本来果たすべき役割)

農業委員会等に関する法律に基づき市町村ごとに設置される行政委員会として、農地法などの権限に属された農地の権利移動や農地転用許認可事務の適正な執行や、農地等の利用の最適化を推進するため、担い手への農地利用の集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消等を進め地域農業の振興を図る。

■組織目標と計画等との関連(位置づけと意味づけ)

①総合計画 基本構想	・ 活気と魅力あふれる元気なまちづくり
②とりで未来創造 プラン2020	・ 市内企業支援と産業の活性化
③個別計画	・ 取手市国土利用計画 ・ 取手市農業振興地域整備計画

■組織が果たす役割(事業・事務ごとに自組織が担っている役割の全体像)

計画 関連No.	事務事業名称	裁量 有無	協働 有無	組織の役割	担当
①②③	農業委員会事務事業	×	×	農地利用に関する集積や利用の促進、農業経営、農業生産等農業情報の提供及び農地の各種許可等の受付業務を行う。	平澤 染谷
①③	農業経営基盤強化促進事業	×	×	効率的かつ安定的な農業経営を育成するため、農地の利用集積及び経営管理の合理化や経営基盤の強化の促進を図る。	折原
①	農地調整事業	×	×	農地利用関係の紛争についての和解の仲介を行う。	平澤 染谷
①②③	農業委員会等会議運営事業	×	×	農地の権利移動等を適切に行うため、農地法や農政に関する決議事項を総会において審議し決定する。	平澤 染谷
①	農業者年金事務事業	×	×	農業者年金の相談指導及び加入推進を図る。	折原
①②③	機構集積支援事業	×	×	遊休農地の発生防止・解消に向けた農地の利用状況調査を行い、遊休農地の所有者には利用意向調査を実施し、農地等の有効利用の促進を図る。	平澤

■今年度の重点事業(自部署の中で優先順位の高いもの)

項目(何を)	行動アクション(どのように)	目標期限と達成基準
重点事業① 農地の権利移動及び転用許可事務事業	農地の権利移動等、事務処理を適切に行うため、現地調査を実施し、農地法や農政に関する議決事項を毎月1回農業委員会総会において審議し決定する。	【目標期限】 毎月25日 各種許可申請書の締切日 毎月10日 農業委員会総会 毎週金曜日 市街化区域内の農地転用届出の締切日 【達成基準】 決定後、速やかに交付する。
重点事業② 遊休農地の利用状況確認及び利用意向調査事業	遊休農地の発生防止・解消に向けた農地の利用状況調査を年1回実施し、遊休農地の所有者には利用意向調査を行い今後の利用意向を確認するとともに、農地中間管理機構への貸し付けを促す。	【目標期限】 8月～11月 利用状況調査 12月～2月 利用意向調査 【達成基準】 遊休農地解消目標面積 5ha
重点事業③ 農業経営基盤強化促進事業	農地の利用集積、経営管理の合理化や経営基盤の強化の促進を図るため、貸し手、担い手からの農用地利用集積計画(案)を農業委員会総会において審議し承認を行う。	【目標期限】 毎月25日 農用地利用集積計画(案)提出締切 毎月10日 農業委員会総会承認後、速やかに公告を行う。 【達成基準】 新規集積目標面積 10ha

■業務プロセスの改善(一課一改善以上の取組み)

項目(何を)	行動アクション(どのように)	目標期限と達成基準
職員の事務処理対応の向上	職員の知識向上のため、県南地区農地転用等事務研究会及び各種研修等へ参加し、農地行政の適正な執行に努める。	事務研究会参加目標回数 年6回 研修参加目標回数 年4回

■職員の育成及び職場活性化の取組み

項目(何を)	行動アクション(どのように)	目標期限と達成基準
情報の共有(相談内容及び法の解釈)	情報共有による業務内容の把握と対応の協議	令和6年3月 月1回以上開催

■ニーズの把握と成果の検証、評価を把握する取組み

項目(何を)	行動アクション(どのように)	目標期限と達成基準
農地等の状況把握	地域の認定農業者等からの意見要望や農地の現状の確認等は、農業委員及び農地利用最適化推進委員が把握を行う。	令和6年3月 毎月1回の情報収集活動